

仙人通信 196 三国山②・大洞山(1383m)

三国山・大洞山は山中湖の南に位置し、三国峠と籠坂峠を結ぶ三国山ハイキングコース上の山で、大洞山は三等三角点の山である。又三国山は仙人通信 133 で紹介した山でもある。

前回同様に三国峠(約 1140m)に車を置き、三国山からアザミ平をピストンする事とした。白いクサボタン・テンニンソウ・黄色いニガナ・箱根ノギク等に囲まれたスタートであるが、直ぐに薄暗いブナの林の中の急な登りだ。

先日の台風による登山道への倒木等が懸念されたが、枯れた小枝が中心であるだけであり、それらを脇に避けての登りとなった。この地区の登山道は、ご存じの様に富士山の噴火に伴う小さな黒い火山灰(砂礫)であり、踏み固められた U 字状の溝で迷う事はない。

この山城は太いブナの林で、緑の葉に覆われコースからの眺望は、期待できない状況だ。三国山の山頂には 25 分程で到着したが、ガスが立ち込め箱根等を望む事も出来ず残念・・・。緩やかな下りコースとなるが、ガスが濃くなり 30m程の視界が限界だ。コースの主体は、尾根上で踏み跡は黒い火山灰である事もあり、更にピンクのテープや県境のコンクリートの表柱と迷う事はない。

一方、鹿の爪痕や猪が掘たであろう痕跡が散見され、周囲を常に確認し慎重に進んだ。

10 分程下るとブナ坂峠で、富士スピードウェイへのコースの分岐である。

更に 15 分程進んだピークが檜木山であるが、山名を書いた標識はない。

若干リョウブが混成しているだけのブナの林なのに、なぜ檜木峠なのだろうか・・・。

小鳥達の鳴声・他の登山者もいない静寂の中、突然スピードウェイからの爆音が響き複雑な気分だ。更に 20 分程で大洞山山頂に到着だ。やっとガスも消えて気持ちも落ち着き、のんびりと散策できる状況となる。ブナの木の下には、実を付けたフタリシズカ・丈が 15 cm程のミズヒキ・10 cm足らずのトリカブトに 1 輪の花が・、又越しに箱根の山脈も望めた。

更に 30 分程でアザミ平の東である。アザミ平はバラの株が点在する、木々に囲まれた草原状の平原である。大きな花のフジアザミやマツムシソウが咲く草原と手元の地図にはあるも、登山したタイミングが悪いのだろうか 10 本前後の普通のアザミがあるだけであった。開けた南側からは、御殿場の街並みの上に愛鷹山塊と箱根山塊が望めた。

ゆっくり休憩後、来た道に戻るのだが、照り出した太陽のおかげだろうか、黄色いタビラコや白いミヤマムラサキと思われる花が登山道を飾ってくれ、落ち着いた下山となりました。朝、御殿場 IC を降りた時に赤黒く染まった富士を望めた事から、再度見たくパノラマ台の手前のススキの原にて待機したのであるが、すっぽりと雲に包まれた富士は、南側の肩が僅かに覗いただけで、心残りの約 4 時間(18000 歩)の山旅となってしまいました。(R1. 9.19)

三国山



大洞山



アザミ平



愛鷹山塊

